

2006年8月21日

林野庁長官 様  
十勝東部森林管理署長 様  
十勝西部森林管理署東大雪支署長 様

十勝自然保護協会会長 安藤 御史  
ナキウサギふぁんくらぶ代表 市川 利美  
(社)北海道自然保護協会会長 佐藤 謙  
北海道自然保護連合代表 寺島 一男

### ラリージャパン (WRC) の環境問題への対応に関する抗議と要請

私たち北海道の自然保護団体は、6月22日付けで貴職にラリーによる環境破壊を防止するための要請をしましたが、貴職の回答はラリーコース周辺に生息する絶滅危惧種や希少種の保全に関して具体的な判断を避けた無責任な回答です。

これまでも私たちは貴職に対し、新得町のコース周辺には絶滅危惧種であるシマフクロウ・クマタカが生息していること、希少種であるナキウサギはコース脇に生息していること、ラリーコースが大雪山国立公園内を通過していることなどを指摘し、林道の使用許可を出さないように要請してきました。

今年7月に十勝自然保護協会が行った新得町のラリーコースの調査では、コース上を飛翔するクマタカを目撃したほか、コース脇でクマゲラの営巣木を確認しました。ナキウサギもコース脇に生息しているほか、クシロワチガイソウやコテングコウモリも確認しています。いずれも国と北海道が絶滅危惧種に指定している種です(十勝自然保護協会 HP <http://city.hokkai.or.jp/~kagami> 参照)。

新得町のコースでは北海道開発局による調査でもさまざまな絶滅危惧種・希少種の生息地であることが明らかになっていますが、主催者は今年も新得町でラリーを予定しています。また、絶滅危惧種や希少種が生息しているのは新得町のコースだけではありません。

貴職がこのようなところで開催されるラリーに林道の使用許可を出すということは、森林生態系の保全、自然環境の維持を軽視していると判断せざるを得ません。貴職はこれら絶滅危惧種、種の保存法に指定されている種の生息する森林の管理者であり、これらの保全に積極的に取り組む責任があります。

貴職が絶滅危惧種の生息地で開催されるラリーに林道の使用許可を与えないよう要請します。森林生態系の保全を重視した適切な判断をされることを期待します。

2006年8月21日

北海道知事 高橋はるみ 様

十勝自然保護協会会長 安藤 御史  
ナキウサギふぁんくらぶ代表 市川 利美  
(社)北海道自然保護協会会長 佐藤 謙  
北海道自然保護連合代表 寺島 一男

### ラリージャパン (WRC) の環境問題への対応に関する要請

私たち北海道の自然保護団体は、6月22日付で貴職に環境問題に関わる要請をしました。これに対する貴職の回答は、「主催者の責任において環境調査が実施されているところであり、その調査結果を主催者側から聞き取ることにより、環境への配慮を確認するとともに、必要に応じて指導を行い、適切な対応を求めていくことにしています」というものでした。

これまでも私たちは貴職に対し、新得町のラリーコース周辺には絶滅危惧種であるシマフクロウ・クマタカが生息し、希少種であるナキウサギはコース脇に生息していることなどを指摘し、北海道みずからこれらの希少動植物について確認し主催者を指導するように要請してきました。

今年7月に十勝自然保護協会が行った新得町のラリーコースの調査では、コース上空を飛翔するクマタカを目撃したほか、コース脇でクマゲラの営巣木を確認しました。ナキウサギもコース脇に生息しているほか、クシロワチガイソウやコテングコウモリも確認しています。いずれも国や北海道がレッドデータブックに掲載している種です（十勝自然保護協会 HP <http://city.hokkai.or.jp/~kagami> 参照）。

新得町のコースは、北海道開発局による調査でもさまざまな絶滅危惧種・希少種の生息地であることが明らかになっていますが、主催者は今年も新得町でラリーを予定しています。また、絶滅危惧種や希少種が生息しているのは新得町のコースだけではありません。

貴職はラリージャパンの名誉大会長となっているうえ、ラリーの環境調査に関しては「主催者の責任」とし、ラリーが希少動植物へ与える影響についてみずから問題意識を持って対応するという姿勢がありません。しかし、上記の絶滅危惧種は北海道レッドデータブックに掲載されている種であり、北海道みずから積極的に保全を図るべき種です。貴職の「主催者任せ」の態度は、希少な動植物を保全するというみずからの責任を放棄しているといえるものです。

貴職が、みずからの責任においてラリーコースに生息する希少動植物を確認し、主催者に対してすみやかに適切な指導をされることを再度要請します。

2006年8月21日

環境大臣 小池百合子 様

十勝自然保護協会会長 安藤 御史  
ナキウサギふぁんくらぶ代表 市川 利美  
(社)北海道自然保護協会会長 佐藤 謙  
北海道自然保護連合代表 寺島 一男

### ラリージャパン (WRC) の環境問題への対応に関する抗議と要請

私たち北海道の自然保護団体は、6月22日付けで、貴職にラリーによる環境破壊を防止するための要請をし、回答を求めましたが、貴職は今日まで文書回答をしていません。

これまでも私たちは貴職に対し、新得町のコース周辺には絶滅危惧種であるシマフクロウ・クマタカが生息していること、希少種であるナキウサギがコース脇に生息していること、ラリーコースが大雪山国立公園を通過していることなどを指摘し、主催者を指導するよう要請してきました。しかし、貴職からは一切回答がありません。このように自然保護NGOの質問を一貫して無視している関係行政機関は貴省だけです。環境問題に取り組んでいる市民団体に真摯に対応しない貴職の態度は行政としての責任放棄といえるものであり、強く抗議します。

今年7月に十勝自然保護協会が行った新得のラリーコースの調査では、コース上空を飛翔するクマタカを目撃したほか、コース脇でクマガラの営巣木を確認しました。ナキウサギもコース脇に生息しているほか、クシロワチガイソウやコテングコウモリも確認しています。いずれも国が絶滅危惧種に指定している種です(十勝自然保護協会 HP <http://city.hokkai.or.jp/~kagami> 参照)。このように新得町のコース一帯には絶滅危惧種が多数生息しているにも関わらず、主催者は今年もラリーコースとして予定しています。また、絶滅危惧種や希少種が生息しているのは新得町のコースだけではありません。

貴職は自ら絶滅危惧種として指定した種、種の保存法に指定している種の保全に積極的に取り組む責任があります。とりわけ新得町のコースは、北海道開発局による環境調査によってもさまざまな絶滅危惧種・希少種の生息地であることが明らかになっています。

以上の事実を踏まえ、絶滅危惧種や希少種を保全すべき立場にある行政機関として、主催者を指導されるよう強く要請します。

なお、貴職がこのようなところでラリーを開催しても問題ないとの判断をしているのであれば、その根拠を明らかにしてください。

2006年8月21日

ラリージャパン 2006 大会組織委員長 田畑 邦博 様  
十勝毎日新聞社社長 林 光繁 様  
国際ラリー支援実行委員会会長 砂川 敏文 様

十勝自然保護協会会長 安藤 御史  
ナキウサギふぁんくらぶ代表 市川 利美  
(社)北海道自然保護協会会長 佐藤 謙  
北海道自然保護連合代表 寺島 一男

### ラリージャパン (WRC) の環境問題への対応に関する抗議と申入れ

私たち北海道の自然保護団体は、4月30日付けで、ラリージャパンの主催者である貴職らに環境問題に関わる説明会の開催を求めましたが、貴職らは今日まで回答していません。私たちは主催者がこのような態度をとりつづけ、真摯に対応しないことに対し、強く抗議します。

これまでも私たちはラリージャパンの主催者に対し、新得町のコース周辺には絶滅危惧種であるシマフクロウ、クマタカが生息しこと、希少種であるナキウサギがコース脇に生息していること、コースが国立公園内を通過していることなどを指摘し、コース変更を求め、環境調査報告書の提出や説明会の開催を申入れてきました。

今年7月に十勝自然保護協会が行った新得町のラリーコースの調査では、コース上空を飛翔するクマタカを目撃したほか、コース脇でクマゲラの営巣木を確認しました。ナキウサギもコース脇に生息しているほか、絶滅危惧種のクシロワチガイソウやコテングコウモリも確認しています(十勝自然保護協会のHP <http://city.hokkai.or.jp/~kagami> 参照)。このように新得町のコースはさまざまな絶滅危惧種・希少種の生息地となっていますが、今年もラリージャパンのコースとして予定されています。

6月27日に十勝自然保護協会が十勝毎日新聞社を訪問し、同社の高橋事業部長にラリーの環境問題について質問したところ、大会組織委員会として環境調査を行っているとの回答を得ています。

また、私たちの質問に対し北海道は平成18年7月7日付広報公聴350号で「これまでもラリーの開催に際し、主催者側と面談する度に、環境調査の結果を地域の関係団体などにも公開し、説明に努めるよう強く申し入れているところです。また、2006年のラリー大会もこれまでと同様に、主催者側の責任において環境調査が実施されているところであり、その調査結果を主催者側から聞き取ることにより、環境への配慮を確認するとともに、必

要に応じて指導を行い、適切な対応を求めていくことにしています」と回答しています（資料添付）。しかし、貴職らはこのような北海道の指導を無視して私たちへの説明会を開催しません。

貴職らが絶滅危惧種や希少種の生息地や国立公園内でラリーを予定していることに対し強く抗議するとともに、すみやかに調査結果を公表して説明されるよう再度申入れます。